

KOBE YMCA NEWS



神戸青年

No.642

2016.3

Mar

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。(テサロニケの信徒への手紙 一 2:20)

ブランディング

— YMCAの宝の発見 —

公益財団法人 神戸YMCA 理事長 中道 基夫
日本YMCA同盟中期計画推進委員会 副委員長

YMCAの大きな悩みは、YMCAには伝統もあり、実績や全国・全世界に広がるネットワークによる社会的な信用がありながら、人々から何をしているところなのかははっきりと認識されていないということです。

それはYMCAが人々から選ばれる理由、YMCAの会員になる理由、YMCAの活動に参加する理由の欠如とも言えます。もちろん人々に訴えたい「理由」はたくさんあります。YMCAを経験した人にはそれが分かっていることでしょう。しかし、それが全然人々に伝わっていないのです。外部の人から「YMCAってなにしているところ?」「YMCA? 最近聞かないねえ」という言葉を聞くこともあります。

現在、日本のYMCAは、オールジャパンYMCAの力を結集し、専門のブランディングコンサルティングの助けを得て、この課題に取り組んでいます。それが、2015～2017年の3年間において達成しようとしている日本YMCA中期計画の重要な事業の一つです。このプロセスの中で学んできたことは、わたしたちYMCAは今から新しい「理由」を創り出すのではなく、今まで培ってきたものの中にその「理由」=「YMCAの宝」があり、それをもう一度発見し、磨き上げ、現代の人々に伝わる言葉、共感してもらえ言葉で表現しなければならないということです。それがブランディングということです。現在は、そのYMCAの宝を「もう一度発見し、磨き上げ」るプロセスのまっただ中にいます。今回行われました神戸YMCA YYフォーラムでもその宝探しが行われました。これはワクワクする作業であり、YMCAの宝をもう一度輝かせる大きなチャンスです。

今年の6月には、全国で取り組まれているブランディングの成果として、磨き上げられた宝を表現する言葉やこれからの戦略が提案されます。大切なのは、それをYMCAのスタッフも会員も共有し、それをういてわたしたちが何をするのかです。ぜひ一緒に考え、ブランディングの道を歩んでいきましょう。きっとその宝はYMCAを、そしてYMCAに関わる人々を輝かせてくれます。

YYフォーラム

2016年2月6日(土)に神戸栄光教会にて「ブランドの再生～神戸YMCAの宝探し」をテーマにYYフォーラムが開催されました。合計約90名、ワイズメンズクラブ、ユース、職員が集まり、それぞれの立場から感じる、YMCAの宝について語り合う時間を持ちました。フォーラムを始めるにあたり、開会礼拝では家山華子さん(日本基督教団喜音伝道所協力伝道師)より、「私たち一人ひとりの中にある光がさらに輝くように」とメッセージと賛美の歌をいただきました。



その後の講演では、「YMCAのブランディングとは」をテーマに、坂本孝司さん(日本YMCA同盟ブランディング広報戦略タスクチーム・神戸YMCA職員)より、なぜ今YMCAにブランディングが必要なのか、オールジャパンYMCAでの取り組みについて話をいただきました。かつては先駆的かつ先進的な活動を展開していたYMCAが、変わり行く社会の中で多様化している社会問題に立ち向かう事が課題となっている今、ブランディングとミッションの明確化によって、「選ばれるYMCA」を目指していくことが必要だとお話しいただきました。



講演を受けて行われたワークショップでは、様々な立場を代表して、鶴丹谷剛さん(神戸ワイズメンズクラブ)・横道千紗都さん(三宮リーダー会)・松岡賛祈さん(ちとせ幼稚園教諭)・山城みなみさん(西宮ランチ職員)にそれぞれのYMCAとの関わり「YMCAストーリー」を語っていただき、続いて会場のみなさんと一緒に、YMCAの宝を探して、未来につなげるためにはどうしたらいいかを自由に話をしました。鶴丹谷さんより、YMCAの

宝は「人」であり、今後も全人教育が行われる場所であることが望まれ、そのために必要の無いものは削除して、さらに先駆的な活動を続けていくことが必要と述べられました。また、松岡さんも、YMCAの逆三角形が示している精神を大事にして、命が与えられている喜びを感じられる事が宝、山城さんより、多様化する課題に対して、YMCAから社会を変えていく活動が必要、横道さんからは、「メンバーズファースト」が宝であり、子ども達に何かを伝える活動が必要、とお話しいただきました。会場でも、グループに分かれ、それぞれが感じるYMCAの宝を出しあい、いままで気付かなかった宝を共有したり、さらに議論を深めたりと話が尽きない様子でした。



このフォーラムでは、それぞれが感じるYMCAの宝を共有して、特色を再発見することができました。今後は、YMCAに携わるみなさんと共にこの「宝」を磨き、光り輝くように進めていくことを共有しYYフォーラムを終えました。

イースター早天礼拝のご案内

日時：2016年3月27日(日)午前7時～
場所：神戸東遊園地(雨天：神戸YMCAファミリーウエルネスセンター)
メッセージ：藤井尚人牧師(日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会)
説教題：「イエスさまが呼んでいる」

YMCAちとせ保育ルーム



YMCAちとせ保育ルームは、神戸市の認可を受けた1～2歳児の為の小規模保育事業で、定員12名のこじんまりとした“お家”のような空間です。そして毎日長時間を共に過ごす子どもたちと先生は、まるで大きな家族のようです。



1～2歳児だけの生活ですから、時間はゆったりと流れ、その中で子どもたちが自分の好きな遊びを見つけて試したり、繰り返して楽しんだりして過ごしていますが、自分の思いが優先される家庭とは違い、集団の中には自分と同じような興味や欲求をもった友だちがたくさんいますので、時には、友だちが遊んでいるおもちゃが欲しくなったり取られたり、泣いたり怒ったりすることもあります。そんな時に「いやだったね」「欲しかったね」と先生がゆっくり寄り添って思いを受けとめてくれたり、「○○ちゃんも欲しかったんだって」とゆっくりと気付かせてくれると、安心したり、新たな発見が与えられたりします。こうした先生との愛着関係の中で「愛されていること」「大切にされていること」に気付いて安心感を持つと共に、お友だちがいるから楽しい、嬉しいという経験が出来るのが“集団ならではの”良さであり、またそれを“1～2歳児ならではのベース”でゆったり過ごせるところに保育ルームの良さがあります。2歳児が1歳児にそっと手を差し伸べたり、1歳児が2歳児の姿に憧れて真似して遊んだり、互いに刺激し合い日々育ち合っている子どもたちが、これからも安心して、満足して、自分を出して過ごせるように、1～2歳という時期を丁寧に大切にしたいと思ひます。



1～2歳児だけの生活ですから、時間はゆったりと流れ、その中で子どもたちが自分の好きな遊びを見つけて試したり、繰り返して楽しんだりして過ごしていますが、自分の思いが優先される家庭とは違い、集団の中には自分と同じような興味や欲求をもった友だちがたくさんいますので、時には、友だちが遊んでいるおもちゃが欲しくなったり取られたり、泣いたり怒ったりすることもあります。そんな時に「いやだったね」「欲しかったね」と先生がゆっくり寄り添って思いを受けとめてくれたり、「○○ちゃんも欲しかったんだって」とゆっくりと気付かせてくれると、安心したり、新たな発見が与えられたりします。こうした先生との愛着関係の中で「愛されていること」「大切にされていること」に気付いて安心感を持つと共に、お友だちがいるから楽しい、嬉しいという経験が出来るのが“集団ならではの”良さであり、またそれを“1～2歳児ならではのベース”でゆったり過ごせるところに保育ルームの良さがあります。2歳児が1歳児にそっと手を差し伸べたり、1歳児が2歳児の姿に憧れて真似して遊んだり、互いに刺激し合い日々育ち合っている子どもたちが、これからも安心して、満足して、自分を出して過ごせるように、1～2歳という時期を丁寧に大切にしたいと思ひます。

太山寺児童館



2016年1月23日(土)に太山寺中学校で地域おもちつき大会を行いました。

当日は寒さが心配されましたが、とてもいい天気の中、参加者、ボランティア、総勢515人の方が来られ、同じ時間を過ごすことが出来ました。当日は小学生からシニアの方まで幅広く、お手伝いをいただきました。おもちつき場所では「よいしょ！よいしょ！」と大きな声をみんなでかけあいながら、おもちをつきました。初めておもちを食べる子どもたちや初めておもちつきをする子どもたちに、ボランティアのみなさんも力が入ります。出来たてのおもちはとても美味しく、子どもたちはおもちをたくさん頬張り、きなこやチョコなどで口周りを汚しながら、満面の笑みで食べていました。その笑顔を見る保護者のみなさんも一緒に笑顔になっていました。カルタ大会も同時に開催され、お手伝いの中学生在がカルタや百人一首を詠んでくれている姿や、「はい！」と真剣な顔で札を取る子どもたちの姿がありました。地域のみなさんとおもちつき大会を作り上げることが出来ました。ご協力いただきましたみなさん、本当にありがとうございました。



「誰かのために…奉仕の力」

YMCAにはウェルネスセンターが2施設あります。西区の学園都市と、中央区の脇浜町にあります。脇浜町にあるファミリーウェルネスセンターは2014年9月にオープンしたばかりの施設です。両ウェルネスセンターでは年末最後の開館日にメンバーの皆さんとともに大掃除を行っており、毎年多くの方がご参加くださっています。



脇浜町にあるファミリーウェルネスセンターは、加納町から移転をしましたので、メンバーの多くは新しく入会して下さった方々です。加納町の頃から大掃除に参加して下さるメンバーも多いのですが、新しく入会していただいたメンバーの方も多くお手伝いいただきました。まだオープンして1年ほどしか経っていないにも関わらず、こういったYMCAの活動へ積極的に関わっていただいています。一緒に運動する仲間たちと気持ちよく施設を利用できるようにと、掃除という形で奉仕いただく姿に感謝いたします。大掃除だけでなく日々の運動でも自分が使用した器具を次の人のために綺麗にいただいています。この誰かのために…行なう奉仕の力こそYMCA活動の原動力となるのではないのでしょうか。一人の施設利用者から、YMCAの活動を担うメンバーとして変化し、さらにはYMCAから地域の活動を担えるようなメンバーとなっていくことがYMCAの願いです。そのメンバーの皆さんとともに歩いていくウェルネスセンターであり続けたいと思ひます。



学童保育クラブ 須磨YMCA



「異年齢の交わり」

学童保育が行われている須磨YMCAは、YMCAちとせ幼稚園と併設しており、2歳児から小学6年生までのお友だちが過ごす場所でもあります。放課後、小学校から帰ってくるとグラウンドには幼稚園のお友だちが遊んでおり、自然と同じ場所、おもちゃなども共有して過ごす場面を見ます。自分たちの弟や妹のように時には優しく、時にはルールや遊び方を教えてくれる姿もあり、学童保育内だけの異年齢を飛び越えた、もっと大きな大家族のような環境が、家庭や学校ではできない体験をさせてくれます。2015年度よりちとせ幼稚園が幼保連携型認定こども園へ移行したことで、夕方5時30分から7時ごろまで同じ部屋で幼児と小学生が保護者の帰りを待ちます。はじめは違和感があるその空間も、徐々にその1人1人の存在



をきちんと認め、年齢関係なく生活していく子どもたちを見ると、この時代にあって大切な経験をしているなど感じさせられます。この学童期に自分そして他者を認められる人に成長して欲しいと願っています。

感謝・寄付

YMCA国際協力募金に園児のみなさんと取り組んで下さっている保育園を紹介します。ご協力、感謝いたします。

- 社会福祉法人 イエス団 神視保育園
- 社会福祉法人 神戸婦人同情会 青谷愛児園
- 社会福祉法人 聖ミカエル保育園
- 社会福祉法人 愛児会 あゆみ幼児園
- 社会福祉法人 頌栄会 頌栄保育園
- 社会福祉法人 光朔会オリンピア オリンピア都保育園
- 社会福祉法人 松蔭ミカエル福祉会 松蔭おかもと保育園



新会館建築募金(感謝)

美崎教正、山口泰雄、吉井宏一郎、高見彰、船越達也、ANAクラウンプラザホテル神戸、大塚雅人、手塚貴子・彩子・咲子、宗行孝之介、岩井義矢、中田杉子、中道基夫、藤井とも子、尾上尚司、日本基督教団神戸聖愛教会、(株)岡工務店、神戸YMCAベルクワイアー、井上伸子、山本常雄、井上済、本田淳代、芦屋ワイズメンズクラブ、大倉正子、堀江裕一、小野勲紘、(株)生活科学運営、神戸YMCA Ding Dong Ringers、吉田明、中嶋知子、井上真二、進藤啓介、宝塚ワイズメンズクラブ、リゾートトラスト(株)、(株)ホテルマネジメントジャパン (敬称略、順不同)

ワンワールド・フェスティバル FOR YOUTH

12月26日(土)大阪国際交流センターにて「ワンワールド・フェスティバル for Youth ~高校生のための国際交流・国際協力EXPO」が開催されました。当イベントは関西圏の高校生による実行委員会と100名以上の高校生ボランティアが主体となったイベントです。今回のテーマは「知る・触れる・つながる世界」でした。高校生を対象とした様々なプログラムが行われている中、神戸YMCAでは海外プログラムのシアトルエクスチェンジプログラム、タイワークキャンプと国際協力募金の活動についてブースを設け紹介しました。当日は、シアトルエクスチェンジプログラムに過去参加したことのある高校生5名とタイワークキャンプに参加した大学生リーダーが神戸YMCAのユースとして協力をしてくださいました。彼らがYMCAの海外プログラムを通して経験してきたことをイベントに参加していた高校生に向けて熱く語っていました。



当日は、シアトルエクスチェンジプログラムに過去参加したことのある高校生5名とタイワークキャンプに参加した大学生リーダーが神戸YMCAのユースとして協力をしてくださいました。彼らがYMCAの海外プログラムを通して経験してきたことをイベントに参加していた高校生に向けて熱く語っていました。



2016年度はシアトルYMCA—神戸YMCAユースエクスチェンジプログラム50周年を迎えます。8月1日~11日に中高生を対象としたプログラムを実施いたします。興味のある方は神戸YMCA国際・奉仕センターまでお問い合わせください。

(078-241-7204)

灯台 No.5

Light House



「ルーティンと調和」

スポーツ選手のある動作が「ルーティン」として脚光を浴びました。ラグビー五郎丸選手のプレスキックを蹴る前の少し屈むような態勢で両手を合わせ、指を立ててゴールポストを何回か見る一連の動作、それから大相撲初場所でも優勝した琴奨菊関の「琴パワー」は最後の仕切り前、大量の塩を左手で取って振り向き、両腕を大きく広げて上体を思い切り反らす動作です。これらを作り上げたスポーツ心理学にもとづいたメンタルトレーニングも注目されました。

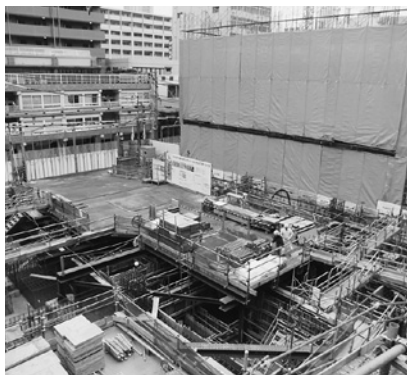
ルーティンは「決まり事」と訳され、例えばキックする前の行動、身体的な動きを一定のパターンにすることで、無意識でおこなってことを意識化し、それに集中していくことです。これはプロや一流選手だけのものではなく、「静」から「動」に入る前の動作においては何らかのルーティンをしており、先日の中西日本YMCAユースバスケットボール大会での子ども達のフリースローでも随所に見られました。息を吐く、肩をまわす、ボールをバウンドさせる、ボールに置く手の位置を決める、等々です。

アメリカYMCAの体育主事ルーサー・ギューリックは今から約125年前にSpirit(精神)、Mind(知性)、Body(身体)の均整のとれた成長、全人教育を提唱し、現在までYMCA赤三角として継承されています。私たちはBody、MindとともにSpiritを含めた3つの調和の大切さを覚え、神の息吹を感じ、神の賜物である身体に感謝したいと思います。

~あなたがたの体は、
神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。
(コリントの信徒への手紙一6章19節)~

(新)三宮会館建築工事進捗状況

12月までに地盤改良工事、掘削工事、地盤改良杭施工が行なわれました。1月には、捨コン打設工事、トラック構台架設工事、タワークレーン組立工事、基礎鉄筋工事、基礎地中梁鉄筋型枠工事が行なわれ、2017年2月末を竣工予定とし、概ね順調に進められています。(北西擁壁上部より撮影)



シリーズ「くわく」のまじ

2015年12月19日~23日、中国・南京で日中韓YMCA平和フォーラムが開催されました。日本、中国、韓国からYMCAに集う人たちが集まって、平和について話し合いながら学びを深めました。同じYMCAの仲間として、また日中韓という異なるバックグラウンドを持つ者として、どのように平和な社会を作っていくか話し合いましたが、このような機会を持つことはなかなか難しいことではないでしょうか。改めてYMCAの可能性が感じられました。



フォーラムの最後に、「Keep & Change」という提言を「more friends」~「Keep & Change」という提言を公表しました。このもつと友だちを作りたい、良いところは保ちつつ変えていくべきところはより良くしたいという未来志向のメッセージは、ユースがこのフォーラムを通じて平和の文化を育んだことを表しています。このようにユースが出会いと交流を通して力づけられる機会を、今後ともより多くのユースに経験してもらいたいと思います。



次回の日中韓YMCA平和フォーラムは、2年後韓国での開催が予定されています。この貴重な機会への参加をご検討されてはいかがでしょうか。

神戸YMCAユース委員会 廣瀬 猷 児

ファミリーウェルネスセンター ☎078 (241) 7202
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
 ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
 専門学校 ☎078 (241) 7203
 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
 三田YMCA ☎079 (559) 0075
 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
 デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216
 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
 ウエルネスセンター-学園都市 ☎078 (793) 7401



西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
 西神戸YMCA ☎078 (993) 1560
 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
 YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
 神戸学園都市YMCAこども園 ☎078 (791) 2955
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
 ちとせ保育ルーム ☎078 (732) 3542
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

卒業リーダー感謝

今年も学生時代の貴重な時間と力をささげ、YMCA活動の担い手になってくださったボランティアリーダーの皆さんが巣立っていきます。リーダーのご奉仕に心から感謝すると共に、奉仕活動を通して彼らが得たものが、これからの糧になることを願っています。

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 青木良子 | 池田香織 | 宇貞直子 | 恵谷舞 | 大川安紀 | 岡野里咲 | 小川聖香 | 尾崎文子 |
| 金光佑太 | 岸田風花 | 北川優花 | 草川功介 | 久次米ちひろ | 國生まなみ | 苔縄真由子 | 小谷ゆめ実 |
| 小林愛理 | 小室優美子 | 下垣隆 | 須川美里 | 関菜彰子 | 千財唯 | 田井野麻理 | 田坂真優子 |
| 楯尾みずき | 田中麻未 | 玉井美和 | 土田早希子 | 中川あすか | 長澤恵 | 中西真衣 | 奈良航 |
| 新川恒士 | 濱宇津有那 | 平田千晶 | 藤枝未圭 | 藤本莉奈 | 藤原彰美 | 別府颯太 | 増岡佳奈 |
| 松榮元葉 | 松尾佳純 | 村川妃奈 | 森林真央 | 安行七彩 | 山本早菜絵 | 山本有里佳 | 吉原実希 |
| 米田麻人 | 渡辺愛里 | 渡辺壮一郎 | 渡邊菜愛 | | | | |

ファミリーウェルネスセンター 酒蔵見学

1月23日(土)に西宮にある白鷹緑水延の酒蔵見学に行ってきました。このプログラムは、毎年メンバーの交流を目的として実施し、10年以上続いているプログラムです。見学者60名のうち18名がYMCAのメンバーでした。お酒の製造工程と昔の道具を見ながら酒造りの歴史に触れ、時間ギリギリまで試飲を楽しみました!



ホテル学科 模擬挙式

12月16日(水)、グリーンヒルホテル神戸のチャペルをお借りして、ホテル学科2年生が今まで学んできたことの集大成として、模擬挙式を行いました。準備期間は2ヶ月、新郎新婦役は現役学生が担い、達成感を持って終了となりました。ご協力いただきましたグリーンヒルホテル神戸様、ウエディングサロンイノウエ様、北野神戸モンセラット様に感謝いたします。笑顔が溢れる1日となりました。



チャリティー ノルディックウォーキング

12月23日(祝)にウエルネスセンター学園都市にてチャリティーノルディックウォーキングがこなわれました。12名の参加者が、学園都市から垂水健康公園の往復(約6km)のコースを歩きました。今回もチャリティーイベントとして参加者の皆様から国際協力募金に寄付をいただきました。ありがとうございます。YMCA運動(exercise)からYMCA運動(movement)へ!!



街頭募金

12月13日、「世界の子どもたちが子どもらしく生きるために、学習する機会や遊ぶ機会に恵まれるように」と願い、神戸YMCAのメンバーやボランティア、ワイズメンズクラブ、日本語学科在籍生、国際奨学金の受給生、スタッフなど延べ31名の方々にご参加いただき、街頭募金活動を行い、64,340円もの募金が集まりました。心より感謝申し上げます。



信州志賀高原 チャレンジスキーキャンプ

真っ白な志賀高原横手山にてスキー初心者も経験者も、元気いっぱいにスキーを楽しみました!



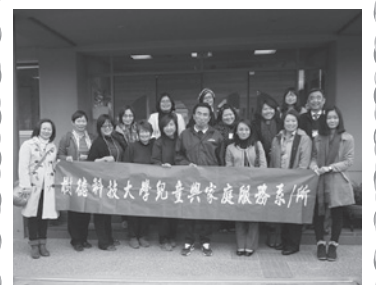
チャリティー ハンドベル コンサート

12月23日(水)、神戸YMCAベルクワイヤーの皆様によるクリスマスコンサートを、灘区民ホールにておこないました。雨模様の天候にもかかわらず、約400名の方々におこしいただき、ハンドベルの音色をお聴きいただきました。今回の収益はYMCA建築募金にささげいただきました。感謝いたします。



高雄YMCA・ 高雄樹徳科技大学

1月12日(火)台湾高雄YMCAと高雄樹徳科技大学で幼児教育を教えている先生方が、西神戸YMCA幼稚園と神戸学園都市YMCAこども園を訪問し、子供達の指導者としてもに学びの時間を持つことができました。



ピンクシャツデー ~イジメのない世界をつくろう~

神戸YMCA高等学院は、ピンクシャツデー(世界的いじめ反対運動 詳細は下記ウェブ参照)にチャレンジしました。ピンクシャツデーはカナダから始まり、今では70ヶ国以上で運動が行われています。神戸YMCA高等学院では、生徒・職員がピンクの服や物を身につけて、意思表示をしました。様々な事情を抱えて入学してきた生徒たち自身が、いじめ撲滅のための運動に取り組んだことは、とても意味のあることだと感じました。



ピンクシャツデー: <http://www.osakaymca-action.org/Events/pink-shirt-day/index.html>

★★ 個人消息 ★★

<ご結婚> おめでとうございます。

11月15日 三枝広実さん (西宮YMCA保育園) 荻野利満さんと

2月27日 山越亜佑美さん (西宮つとがわYMCA保育園) 北原慶一さんと